

事例研究報告

特別支援学校高等部の生徒が
作業学習（カフェ）において
意欲的に取り組むための支援②

本校生徒の実態

実習に係る課題について 過去5年間のデータを収集し分析

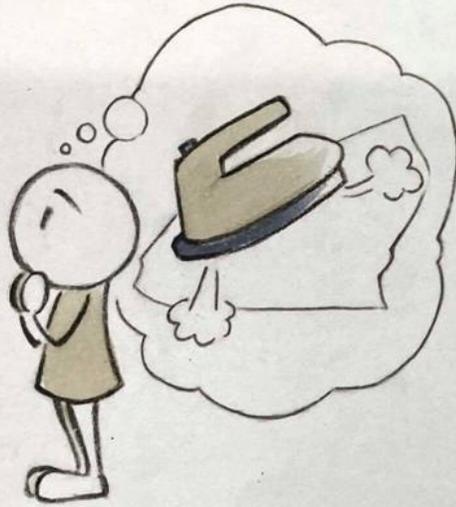


生徒の意欲をさらに高めるための、
指導方法や環境設定の再構築が必要

意欲の定義

環境の中で適切な行動が安定して出現している状態 = 意欲

やってみたい



できた



自信



先行刺激

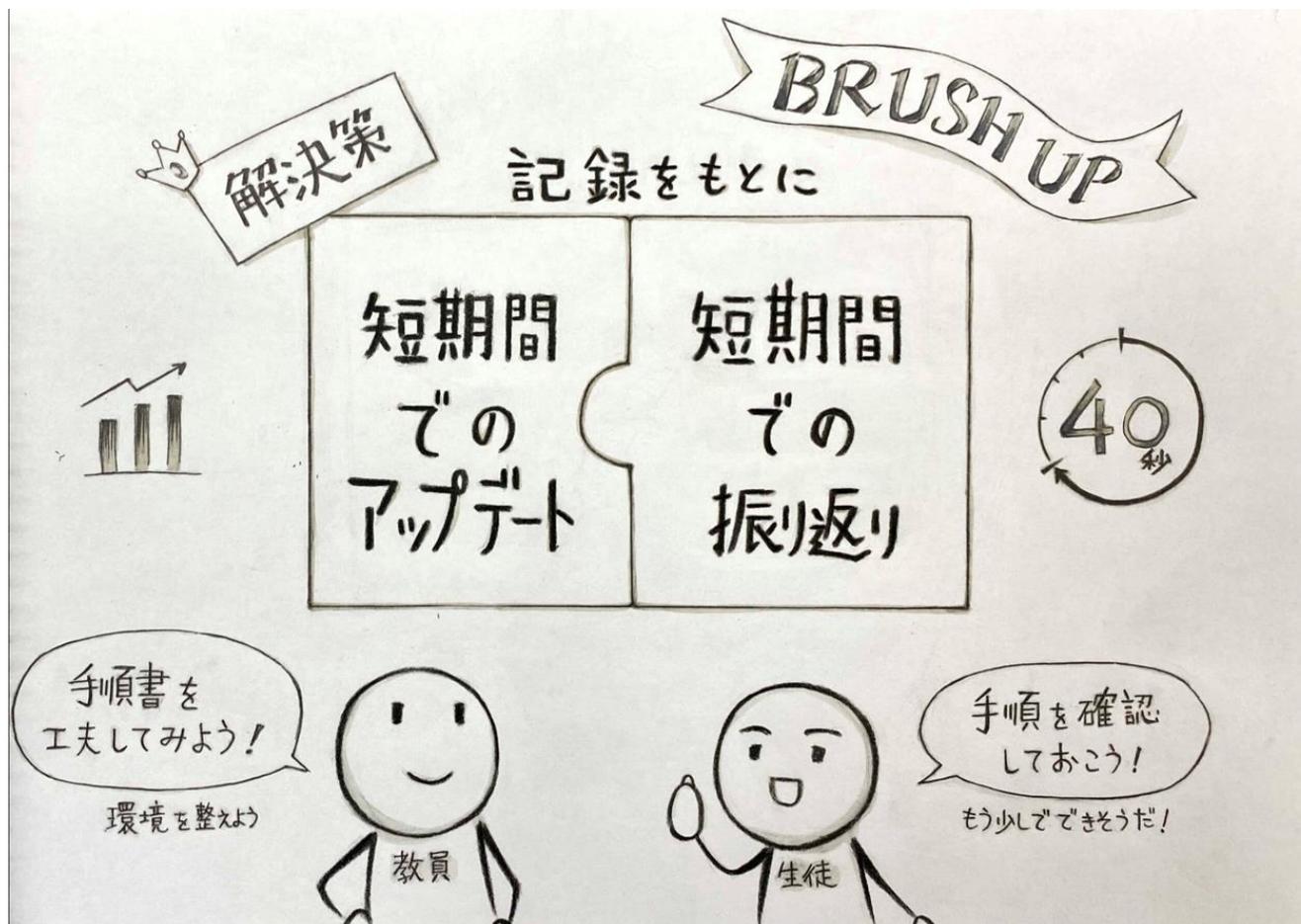
見通しが持てる説明
自己決定の機会
具体的な目標の提示

行動

アイロンをかける
注文を取る
接客する

後続刺激

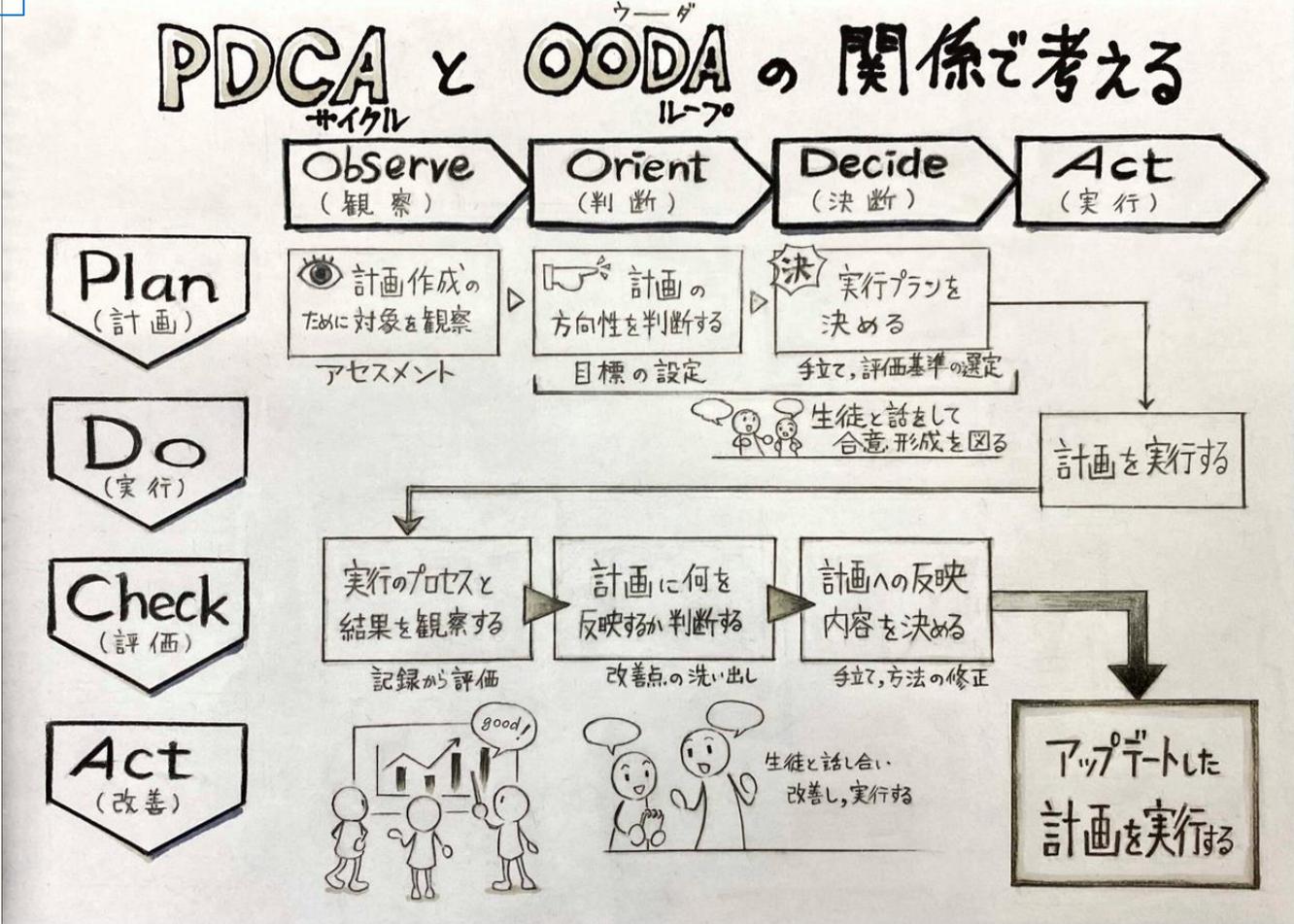
ほめことば
達成感
できれば



- ①作業記録を作成し、目標に関する記録を残す。
- ②記録をもとに、生徒とともに振り返る時間の設定。

昨年度の
取組み

助言を受けての見直し



PDCAサイクルとOODAループの組み合わせで、指導の手続きを見える化し、3分程度の振り返りと隔週で支援のアップデートを実施できるように工夫。

○ 生徒と教員が合意形成を図りながら目標設定や評価をすることで、互いのやるべきことが明確になる。

○ 指導の手続きを見える化し、3分程度の振り返りを実施、隔週で支援の手立てや方法を改善することができた。



「やってみたい」からスタートし、「できた」を生み出すまでの最短ルートを進むことができる。

コンサルテーション

(1) 実践研究の取組内容

【学部での一つのテーマに沿った取組】

作業学習(カフェ)における実践を評価し、生徒の意欲をさらに高めるため、目標設定の工夫や指導及び評価の方法、環境設定等の改善を進める。

(2) 専門家から支援をしてほしい実践研究内容

- ① 高等部 2・3年生 生徒 23名
- ② 生徒の意欲を高めるための目標設定の工夫や指導及び評価の方法について
- ③ ポジティブな行動支援のための環境設定や記録のシステム化

今年度の取組み

作業C (カフェ) 作業記録日誌 名前 (Aさん)

担当	目標	評価基準	11/12	12/10	1/25	2/4	/	/	/	/
営業	・レジ担当業務を正確に行うことができる。 (目標として取り上げる業務は以下の①~③)	①「ありがとうございませ といいまがわすにレジ打 ちがえりあOK ② 各担当者毎返事をしてあげ OK ③ まがわすに 伝えることができたOK	○	○	○	○	○	○	○	○
	①相手に聞こえる大き さでゆっくり接客用語 を発声しながら、レジ を打つ。 ②オーダーを伝える時 は、各担当に顔と体を 向ける。 ③提供する商品を接客 担当者に手渡す際 には、伝票を確認し、 テーブル番号と商品名を確 実に伝える。	①どちらかがレジ ②先生が言うかたがレジ ③どちらかがレジ	○	○	○	○	○	○	○	○
	①レジを閉じが ②まがわすに 注が通ったが ③レジもまがわす	△	△	△	△	△	△	△	△	△
総務	・シャツのアイロン がけにおいて、 ^{20分} 30分 で1枚かけること ができる。	全7 20分以内にときた	○	○	○	○	○	○	○	○
		2枚 20分以内にときた	○	○	○	○	○	○	○	○
		1枚 20分以内にときた	△	△	△	△	△	△	△	△

※生徒は黒、教員は赤で記録する

作業学習A,B,Cにおいて、
全学年の生徒全員が作業記録日誌(評価表)を活用



課題

- ① 評価基準の設定方法
 - ・ 評価表の工夫の仕方

アドバイザーからの助言

4段階評価や数直線を活用した評価表

【解決策】

- ・ 4段階や数直線の評価（満点5で3.3など）にすることで **考えて自己評価** する。

※3段階だと真ん中につけてしまいがちになるから



課題

- ② 評価から改善へのつなげ方
・ 評価の際の注意事項

アドバイザーからの助言

評価の際の支援のポイントを職員間で共有

【解決策】

- ・ 「認められる」を言語化 → 次の提案
※ 支援の再構築 (ツールの提案、できる状況づくり) → 環境要因をかえることが大切



課題

③ 多重多様な評価の在り方

- ・評価が担当割なので、教員1対生徒1になりがち

アドバイザーからの助言

地域の方の評価を見える化

【解決策】

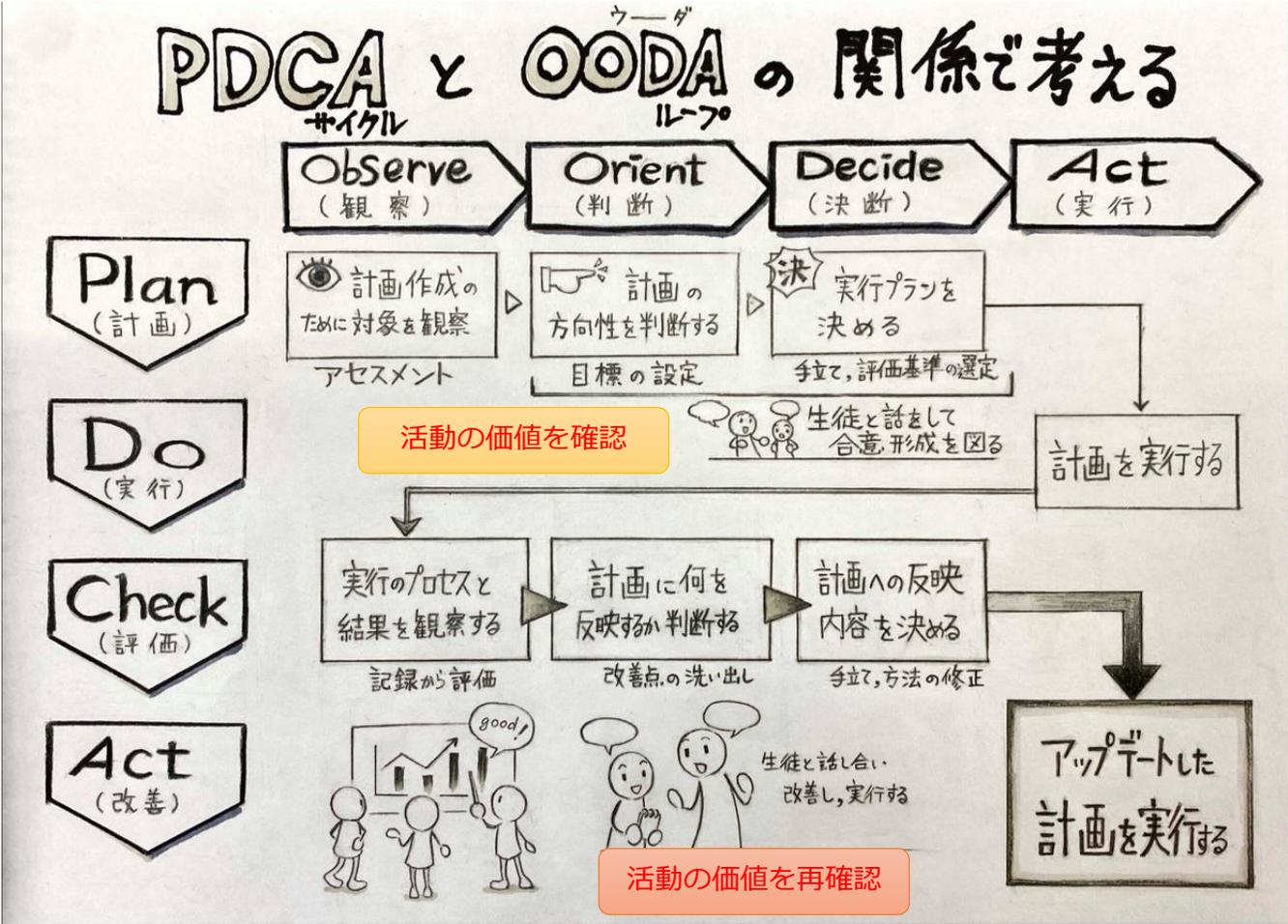
- ・アンケートの活用
- ・ビデオレターの活用
タブレットで動画メッセージを収集

アドバイザーからの助言

カフェ運営等に係るアイデア

- ・テラス席にもスピーカーを置いて音楽が聞こえるようにする。
- ・ロールケーキを出す際に「ミントさんのロールケーキでございます。」と一言添える。
- ・少しだけ儲けて**※カフェの仕事の目的ややりがいが見える化**
 - お客様感謝デーの設定(地域の方を対象に年に一度無料でご招待)
 - 売上目標の設定など
- ・**価値の説明**
 - 何のためにカフェを開いているのか
 - カフェの収入はどのように使われるのか
 - 自分や学校、地域のために
 - スキル(技術)、スペース(居場所)、スマイル(笑顔)の意義

助言を受けての見直し



指導の手続きに教育活動の価値を確認する機会を設定

助言を受けての見直し

	作業C(カフェ)	作業記録日誌	名前 ()										
担当	目標	評価基準	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
総務部 広報担当	カフェのお客様やスタッフにインタビューし、内容をメモすることができる。	4 次の4つの項目全てできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	4 ●	4 ●	4 ●	4 ●	4 ●	4 ●	4 ●	4 ●	4 ●	4 ●	4 ●
		3 次の項目の内3つできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	3 ●	3 ●	3 ●	3 ●	3 ●	3 ●	3 ●	3 ●	3 ●	3 ●	3 ●
		2 次の項目の内2つできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	2 ●	2 ●	2 ●	2 ●	2 ●	2 ●	2 ●	2 ●	2 ●	2 ●	2 ●
		1 次の内1つでもできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	1 ●	1 ●	1 ●	1 ●	1 ●	1 ●	1 ●	1 ●	1 ●	1 ●	1 ●
		良かった点											
	改善点												
	※生徒は黒、教員は赤で記録する												

生徒の実態に合わせて 評価表をカスタマイズ

- ① 4段階や数直線の評価を導入
- ② 「認められている」を言語化し、次の提案を記録

助言を受けての見直し

ikedamima-ss.tokushima-ec.ed.jp

池田支援学校美馬分校



新年あけましておめでとうございます。今年もみまカフェをよろしくお願いいたします。

1月13日。今日はみまカフェの営業日でした。午前中に参観授業もありました。

朝から雪が降り、底冷えするみまカフェでしたが、お客様から「心温まるみまカフェです。」とお声をかけていただきました。スタッフの心も温まりました。ありがとうございました。



ホームページで地域の方の評価を見える化



今後、ビデオレターを作成予定

生徒の実態（Bさんの事例）

【高等部生徒 知的障がい】

- 人懐っこい性格で、人と話をするのが好き。
- 発話はやや不明瞭な部分もあるが、身近な人との日常会話ができる。
- 聞き取った内容を部分的にまとめて、メモすることができる。

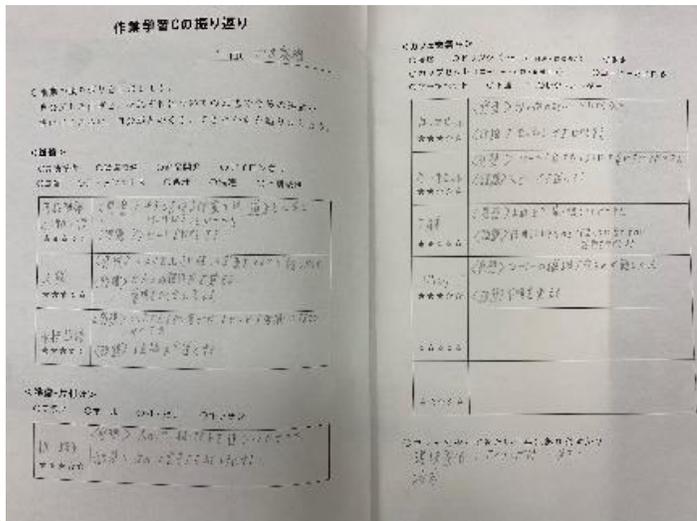


指導の手続き



前期の振り返りから、生徒がやってみよう仕事内容を洗い出し、教員から生徒に後期の目標を提案。

前期の振り返り



生徒Bさんの希望
「広報の仕事をやってみよう」

話すのが得意だから、お客様やスタッフにインタビューして、その内容をホームページにまとめてみよう。

- ① 目標について生徒と話し合い、合意形成を図るとともに、具体的な目標を設定。



指導の手続き

作業C(カフェ) 作業記録日誌 Bさん

担当	目標	評価基準	12/9	12/23	1/24	2/3	2/17	/	/	/	/	/	/	
総務部 広報担当	カフェのお客様やスタッフにインタビューし、内容をメモすることができる。	次の4つの項目全てできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
		次の項目の内3つできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		次の項目の内2つできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		次の内1つでもできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		良かった点	海老川さんOK 丁寧な言葉でメモもしてくれました。	写真と上には 物、よくお話ししてくれました。	時間と調整に 加えて取材してくれました。	写真と話し 加えて取材してくれました。	写真と話し 加えて取材してくれました。	写真と話し 加えて取材してくれました。	写真と話し 加えて取材してくれました。					
		改善点	インタビューの内容を事前にインタビューして確認しよう。	今回の取材は、その場でインタビューして確認しよう。	メモの方法、紙や囲みを使って自分の見たいところをメモしよう。	メモの方法、紙や囲みを使って自分の見たいところをメモしよう。	メモの方法、紙や囲みを使って自分の見たいところをメモしよう。	メモの方法、紙や囲みを使って自分の見たいところをメモしよう。	メモの方法、紙や囲みを使って自分の見たいところをメモしよう。					

※生徒は黒、教員は赤で記録する

- ② 担当教員と生徒が話し合い、目標の評価基準を決定し、自己評価と他者評価を記録。
- ③ 記録をもとに、良かった点及び改善点を確認。



記録

カフェのお客様やスタッフにインタビューし、内容をメモすることができる。

— 自己評価
— 他者評価（教員及び先輩）

担当	目標	評価基準	12/9	12/23	1/24	2/3	2/17
総務部 広報担当	カフェのお客様やスタッフにインタビューし、内容をメモすることができる。	4 次の4つの項目全てできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
		3 次の項目の内3つできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
		2 次の項目の内2つできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
		1 次の内1つでもできた。 ①自己紹介 ②取材の許可をとる ③インタビューする ④内容をメモする	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
		良かった点	順に順今OK 丁寧な言葉で メモも自分の くまにメモ	写真と上手に 撮ってこれた お話を聞けた	時間と調整 加えて取材 ができた	先輩と話し ながら取材 しつづけた できた	インタビュー の準備ができて スムーズに できた
		改善点	インタビュー の内容を事前に 確認したい	今回の取材の ための準備 がもう少し ほしい	メモの方法 をもう少し 使ってみたい と希望	パソコンの 活用もでき たらいいな と希望	お話を 聞けるように 準備したい と希望

※生徒は黒、教員は赤で記録する

評価基準

- 4 下記の項目すべてできた
- 3 下記の項目の内3つできた
- 2 下記の項目の内2つできた
- 1 下記の項目の内1つできた

- 項目
- ①自己紹介
 - ②取材の許可をとる
 - ③インタビューする
 - ④内容をメモする

各基準の中にも3段階の評価
【まだできそう→できた→完璧】

良かった点=「認められる」を言語化

取組の成果



生徒

【本人談】

評価表が分かりやすくなった。良かったところを伝えてくれるので、うれしくて、自信がついた。改善点も教えてくれるので、次に向けて頑張れた。

評価表をカスタマイズすることで、生徒自身が熟考し、記録する様子が見られる等、現段階の自分の達成状況を主体的に考えるようになった。認められることが自信につながり、前向きに取り組めた。

取組の成果

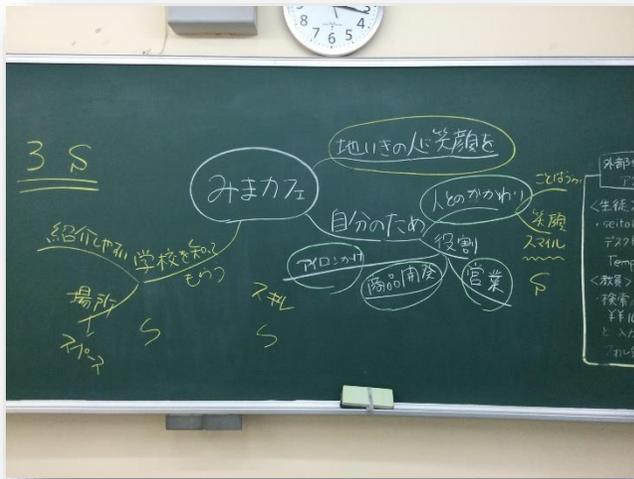
まずは、できていることを認め、言葉で伝えることで、改善案を前向きに受け止め、次のステップへと動き出せることを改めて認識することができた。



教員

作業記録の評価をもとに、できたところや自信があるところを把握するとともに、「認められる」を言語化することで、毎時間次のステップへの勇気づけをする機会となった。

コンサルテーション



○ 生徒参加型のコンサルテーションを実施。生徒自身が専門家にアドバイスをいただくことで、生徒自身が活動の価値を認識することができた。

○ 活動の価値を伝えることで、カフェの仕事の目的ややりがいを認識することができた。

成功のポイント

○「認められる」を言語化することで、意欲を高めるとともに、前向きに改善へと動き出せる機会となった。

○評価表をカスタマイズすることで、エピソードを思い出し、考えながら自己評価することができた。



熟考した自己評価を参考に、認められるを言語化することが、次のステップへの原動力となる。